

春のお彼岸



桃のつぼみもふくらみ
寒さもようやくゆるみ始めました。
よく見れば足元にはオオイヌノフグリなど
小さな春の花が咲き始めています。
皆様、お変わりありませんか？



あたたかな陽を浴びて境内の椿がほころぶ今月は、お彼岸を迎えます。
お彼岸は春分を中心に前後3日間、今年は3月18日から24日までとなります。
この期間、ご自宅でお仏壇を清められたり、ぼたもちを作ったり、
家族そろって心静かにお墓参りをされることと思います。

さて「お彼岸」はご存じのとおり私達仏教徒にとって
「日頃忙しくてなかなか仏道精進できないものの、
せめてこの一週間は仏様の教えを守り、心の修行をしましょう」
という期間です。



お彼岸の間、自分なりに仏様の教えに沿った生活を送り
善いおこないを積むことで、ご先祖様への功德とします。



「仏道精進」といっても具体的に何をしたらいいのか
漠然としてわかりにくいですが、
心の持ち方次第で、普段の生活が立派な修行の場になります。

例えば「無財の七施」は、お彼岸の期間にぴったりの修行です。
一日一日、相手の気持ちになってこの七つの行いを心がけ
実践するのは、簡単なようでなかなか長続きしません。
つい気をゆるすと、自分勝手な気持ちが顔を出したり
自分に余裕がある時だけ相手にやさしくなったりします。

「無財の七施」

- ① やさしいまなざし
- ② にこやかな顔
- ③ 思いやりのある言葉
- ④ 思いやりのある行い
- ⑤ 思いやりのある心くばり
- ⑥ ゆずりあいの心
- ⑦ 気持ちのよいおもてなし

「自分の都合」や「自分の欲望」は、それはそれとして
一旦、深呼吸をして相手の気持ちになってみることに、
これを仏教では「転(てん)」と表します。
自分の立場にとらわれ、こだわっていると
どうしても「私の思い通りにならない」という壁にぶつかります。
それが絶望や落胆につながり、人を苦しめます。
心を自由自在に「転ずる」ことにより、
深い思いやりの心が生まれると同時に、苦しみが消えます。



このお彼岸の一週間、まずは一番身近にいる
家族同士で「無財の七施」を心がけてみると
家の雰囲気がいよりの和やかになることを
実感できるのではないのでしょうか。
その和やかな雰囲気を、お隣同士お友達同士
そして地域全体に広げることができれば
きっとそこは、悟りの世界「彼岸」となるはずですよ。

大智寺だより

平成27年 弥生
Vol.61

発行所

大智寺

岐阜市山県北野
668-1

電話:058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichiji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去の紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

2月号発行部数
200部

ご愛読
ありがとうございます



関市広見 長春寺様 本堂落慶記念行事
お稚児様の募集 ご案内



先月も少しご案内しましたが、いつもお世話になっている
関市広見の長春寺様がこのたび本堂を新しく建て替えられました。
それに伴い、新築完成をお祝いする落慶法要で、み仏の子として
お仕えるお稚児様を広く募集されております。
どうぞ皆様お誘い合わせの上、お申込みください。

日時： 平成 27 年 5 月 31 日 (日) 午前 8 時半～
集合時間： 同 午前 7 時 50 分 (時間厳守)
参加費： 一名 5000 円
申込期限： 平成 27 年 5 月 20 日 (水)
★ 詳細はお申込み時にご案内パンフレットを差し上げます

《お申込み先》
長春寺 (ちょうしゅんじ)
関市広見 1990
☎ 0575-22-3465

※ 大智寺にも若干申込書と
ご案内パンフレットがあります。



三輪・藍川地区 報聖会
春の托鉢のご案内

「報聖会 (ほうしょうかい)」とは、この三輪・藍川地区にあるお寺の集まりで
宗派を超えて 10ヶ寺ほどが一緒に活動しております。
この報聖会では、毎年2回托鉢をおこなっており、皆様からのお浄財は
歳末助け合い・檀信徒大会などに使わせていただいております。
この春も、どうぞご協力賜りますようお願いいたします。

◎ 大智寺周辺：4月1日 (水) 午前9時～11時半

～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)



お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc
わからないこと 質問帳 ⑪



！法要の後、本堂でお経を唱える時と、唱えない時があるけど・・・！

よその家の法要の後、お寺の本堂でお経を唱えたのに
うちの家の法要では、お寺でお経はなかった、という疑問を時々お受けします。

一般的に四十九日法要では、お葬儀の日からお守りしてきた白木位牌から本位牌に切り替えます。
ご自宅では法要と合わせて、お仏壇の新しい本位牌に「精入れ (しょういれ)」の読経を行います。
同じように、本堂に寺位牌を安置なさる場合は、あらためて寺位牌にも「精入れ」の読経を行います。
そのため、家々によって本堂でお経 (精入れの読経) を唱える時と唱えない時があります。

一周忌以降の法要では、皆様にお寺参りいただく際 寺位牌にご焼香をしていただきますが、
寺位牌がない場合は、亡き方のご戒名が書かれた繰り出しにご焼香していただきます。
法要の日には、お寺でもご先祖様が皆様のお参りを心待ちにしているように思います。

本堂の奥には、東西に分かれて多くの方々の寺位牌が安置されており、
普段は、毎朝やすらかに和尚様のおつとめに耳を傾けていらっしやいます。

～ 日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』 ～



お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典
31ページより

⑪

せんしょうまんごうちんりん うく くげん おそろ
「千生万劫沈淪し 受る苦患ぞ怖しき」

さて、あまり見慣れない「劫」という字がでてきました。

仏教で説くもっとも長い時間を「劫（ごう）」、もっとも短い時間を「刹那（せつな）」といいます。

「劫」がどれくらい長い時間をさすのか、仏教ではいろいろな比喩が用いられています。

例えば「40里四方の大きな岩があり、100年に一度舞い降りる天女が羽衣でさらりと岩を払うことでこの大岩が摩耗し、スッカリなくなってしまうまでの時間」とか

「40里四方の大きな城を、小さなケシの実で満たし

そこから100年に一度、一粒ずつケシの実を取り去ることで、城のケシの実が全部なくなるまでの時間」など、どれも気の遠くなるようなほぼ永遠を指しています。

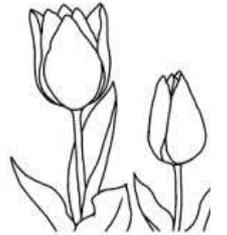
つまり私達は、先月学んだ「悪業罪」をつくると

「千生万劫」果てしなく永遠に長い月日、深く沈みおちぶれ、

地獄や餓鬼、畜生の苦しみをずっと受けることとなる、と説いています。

でも振り返ってみればこの苦しみの原因をつくっているのは、まぎれもない自分です。

自分の心次第で、永遠に続くと思われた苦しみにからッと脱することができるのです。



今月のひまわり

山の斜面では、やわらかな春の日差しを浴びてふきのとうがふっくらと膨らんでいます。そろそろ各地から花便りが聞こえてくる嬉しい頃、皆様穏やかに過ごしてほしいと思います。

梅、桃、桜と代表格が咲き始めると、のどかな田んぼのあぜ道にも小さな草花が咲き競います。ちよっとした花を小さな瓶にいけて、室内に春を呼び込むご家庭も多いのではないのでしょうか。私も花が大好きなので、特に春はハサミを持ってウロウロ、キョロキョロしてまいります（笑）

普段何気なく小さな花をいけては愛でています。が「花をいける」とは、花を美しくいかし、自分の心を花にたくすことよって、いける人も花と共にいかされることを意味するそうです。昔から華道の世界では「他をいかにして共に生きる」という精神が大切にされてきました。

日常を振り返ってみると、ガラスを磨いたり、料理をしたり、ひとつひとつの動作はこの精神につながっていることに気がきます。本来そのもの持つ美しさやおいしさを引き出し、いかすことよって、廊下と共に生き、洗濯物と共に生き、食材と共に生きることが出来ます。華道の心は、花に限らず生活そのものに広がっていきます。

「物には心を添えよ、心には物を添えよ」といいますが、まずは雑巾がけ一つ、お味噌汁一杯に丁寧な心を添えて、百花繚乱の春たくさん物達と共に生きることができればと思います。

～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

ふわあ〜っと口に広がる春の味 ふきのとうの天ぷら

- ① まだ葉が開いていない、つぼみのふきのとうを用意する。
- ② 葉を少しめくり、花の部分をしっかり出す。
- ③ 全体に片栗粉をはけで薄く振っておく。
- ④ 小麦粉2に対して水3の割合で軽く混ぜ合わせ、衣にする。
- ⑤ ふきのとうに衣をつけて、まず花の部分を下にして揚げる。
- ⑥ 箸で触ってサクツとなれば、できあがり。



天ぷら鍋の底の方に沈んだかな、と思ったらすぐ浮かんでくるでね。衣に卵入れる人もおるけど、山菜は薄めな衣で軽く揚げる方が私は好みなんやよ。



～ うちの宗教って、どんなんやっけ? ～

第二十四回：公案



大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話

さて、臨済禅を実践するに当たって「生活信条」を心のよりどころにすること、そして、もし悪業を犯してしまった時には、そのつど「懺悔文」を唱えること、毎日の禅的生活のあり方が、少しずつわかってきました。

禅の暮らしは、誰も手探りで、体当たりで、自分が実際やってみて感じるものがすべてです。私達は毎日の生活の中で、禅を体感しようとしています。修行道場では、より修行僧が禅にどっぷり入り込む工夫として一人一人に「公案」が与えられます。この「公案」は、臨済禅最大の特徴でもあります。修行僧は師匠から与えられた「公案」を一つひとつ解いて、禅の到達レベルを上げていきます。

「公案」はほとんどが無理会話（むりえわ）と言われ、論理的な論証は不可能な問題ばかりで私達のような凡人に解けるものではありませんが、ちょっと垣間見てみましょう。

「達磨には、なぜヒゲがないのか」（『無門関（むもんかん）』第四則）

問題は、たったこれだけです。

この問題を解けるまで、次の問題は与えられません。修行僧は何日も何日も、昼夜問わずこの問題を考え続けます。



臨済宗も曹洞宗も、ともに坐禅を組む禅宗ですがこの「公案」があるのは、臨済宗のみです。

♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

一回 500 円
3月22日（日）（内 300 円は義援金）
（朝8時～9時）
要申込

2月写経会 備忘録

ひと雨ごとに春の気配が色濃くなってゆく2月の日曜日。雨にもかかわらずお越しいただき、ありがとうございました。さて今回は般若心経の心臓部分「空」と「色」のお話でした。日本昔話の「鶴の恩返し」を例に挙げながら、すべて万物は「空」と「色」両方を兼ね備えていることをお伝えしました。目に見えないけれど確かにあるもの、その存在を信じる事を今回は学びました。

ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めてまずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓
1区画：38万円～
（墓石代金含む）

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りの方がいなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒にとひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから「完全個別永代供養墓」といいます。詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、ご予約の上 ご来山ください。